

有限会社森田製針所

大阪府門真市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

独自の超高精度スウェーピング加工技術を核にした医療分野等への「針」の新規市場を開拓

- 超高精度スウェーピング加工技術を核に医療分野等時代に即応した付加価値の高い事業領域を拡大
- パイプ外径約 0.3mm や先端径 0.05mm 等の高精度なスウェーピング加工と加工機の内製化技術
- 新規市場としての医療分野への事業転換と雇用拡大を実現する代表者の強いリーダーシップ

企業基本情報

所在地	大阪府門真市東田町 23 番 24 号
電話 / FAX	06-6906-8686 / 06-6909-5619
U R L	http://www.moritahari.jp/
代表者	代表取締役 森田 祐輔
設立	1947 年
資本金	300 万円
従業員数	43 人



会社概要

イオン放電針・インクジェット針・医療用針・各種保護管・針基付ノズル等の加工。主にステンレスのパイプ、ステンレス線、タングステン線の各種加工（スウェーピング・穴あけ・尖頭・溶接・プレス・切断・フレア・ロウ付け）を行っており、特に外径 0.3mm ～ 3.0mm の細かいものを得意としている。パイプやステンレス線を常時在庫しており、試作等の要望にも短期納期・低コストで供給可能な体制を整えている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

スウェーピング加工技術を核に付加価値の高い事業領域を拡大

1921 年にメリヤス編み針の製造から出発し、スウェーピング加工技術を核として技術力を高め、繊維産業衰退後も時代に即応し、事業領域を拡大している。大手メーカーの空気清浄機の放電針に採用されるほか、医療分野においても手術用器具や血液検査装置用等に対応した特殊な針に特化し、業容を拡大することで、高付加価値分野へと徐々にシフトしており、付加価値の向上に努めている。



スウェーピング（絞り）機

超高精度なスウェーピング加工技術による高付加価値製品の提供

スウェーピング加工は外径約 0.3mm までのパイプ加工が可能。特に、空気清浄機の放電針は先端径 0.05mm を実現しており、大手メーカーのメインサプライヤーになっている。

また、放電加工での極細パイプへの微細穴をバリなしで開ける技術等、生体を傷つけない配慮がある医療針製造に強い技術を有している。

さらに、設備を内製化することにより、スウェーピング加工を含めた社内一貫対応できる体制を構築しており、コスト、品質、納期の総合力で顧客から高く評価されている。



超高精度加工製品

技術ノウハウや外部ネットワークを尊重し、強いリーダーシップを発揮

これまで会社として培ってきた技術ノウハウや外部ネットワークを尊重しつつ、強いリーダーシップを発揮することで、医療分野を事業の柱として強化するため、積極的に事業展開。今年度は医療事業専用の工場棟を新設し、最新のスウェーピング設備や近い将来を見据えたクリーンルームの設置を計画し、医療に特化した医療推進事業部を立ち上げている。

また、守口門真工業クラブ（守口門真商工会議所）副会長を務めるなど、地域商工業の発展にも取り組んでいる。



社長が強いリーダーシップを発揮して、立ち上げた医療推進事業部